

記載上の注意事項

(1) 履歴書（別紙様式1）

- (ア) 学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記入し、卒業、修了、中途退学について明記すること。
- ② 学位名欄には、授与された大学名を（ ）書きで併記すること。
- ③ 職歴欄には、所属講座や部署名等を記入し、退職、転勤、昇任について明記すること。
- ④ 加入学会欄には、学会名および役職名並びに学会における認定医・専門医・指導医等を記入すること。
- ⑤ 記載内容を確認し、自筆署名をすること。

(2) 業績目録

A4判の用紙に以下の順序で記入すること。なお、業績は年代順に記載し、区分ごとに番号を付すこと。

①学術論文、症例報告、総説

次に掲げる区分により、英(欧)文論文、邦文論文の順で記載すること。

- (i) 学術論文：年代順に、番号、著者全員の氏名（英文の場合は、名はイニシャル）、論文タイトル名、雑誌名、発行年(西暦)、巻、ページ(始めと終わり)の順で記載し、本人の名前にアンダーラインを引き、corresponding authorに*印を付すこと。掲載前の論文については、掲載証明のあるものを除き記載しないこと。なお、掲載証明を添付すること。オンラインでのみ公表されている場合は、URLアドレスを記載すること。

【記載例】

1. Jurassic MM, Gibson G*, Orner MB, Wehler CJ, Jones JA, Cabral HJ. Topical fluoride effectiveness in high caries risk adults. J Dent Res. 2022;101:898-904.

- (ii) 症例報告：前記の「学術論文」に準じて記載すること。
- (iii) 総説：前記の「学術論文」に準じて記載すること。

②著書

- (i) 編集書の場合：編者名、発行年（西暦）、書名、出版社名、発行地、総ページ数を記載すること。
- (ii) 単行本への寄稿論文の場合：執筆者名、発行年（西暦）、論文タイトル名、著書名（編者名）、出版社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）を記載すること。
- (iii) 単行本として発刊された抄録集(proceedings)の場合：執筆者名、発行年（西暦）、論文タイトル名、著書名（編者名）、出版社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）を記載すること。

③翻訳書

前記の「著書」に準じて記載のこと。ただし、原著の書名、著者名、出版社名、発行地も併記すること。

なお、①学術論文、症例報告、総説の英(欧)文論文については、Impact Factor (IF)、被引用回数 (Citations: CI)等の集計のため、別紙様式2-1、2-2、2-3にもそれぞれ記入すること。その

際、最新のIF(小数点以下第1位まで)、CIを記載すること。CIについてはWeb of Scienceより抽出したものとする。

(3) 学会発表目録

A4判の用紙に過去10年間のものを、招待発表（特別講演、シンポジウム報告等）と一般発表に分け記載すること。それぞれ年代順に通し番号を付け、発表者全員の氏名（英文の場合、名はイニシャル）、発表タイトル、学会名、発表年月日、開催地名を記載し、本人の名前にアンダーラインを引くこと。なお、一般発表については国際学会での発表のみ記載すること。

(4) 主要学術論文10編の別刷（各6部、コピー可）

業績目録中の主要学術論文10編の番号に○印を付し、その別刷各6部（コピー可）を添付すること。

(5) 病理診断の実績

自らが病理診断を行った顎顔面口腔領域疾患の手術検体の病理診断報告書（マクロ写真と切出し図を含む）20件の写しと、同手術で術中迅速診断が行われた場合はその写し（患者の個人情報をマジック等で必ず消すこと）をA4判で作成すること。

(6) 現在までの研究、病院における病理診断業務、教育の概要

A4判の用紙に、3,000字程度に要約し、学位指導の実績等も具体的に記載すること。

(7) 着任後の研究、大阪大学歯学部附属病院検査部における病理診断・臨床検査業務及び運営、教育に対する抱負

A4判の用紙に、3,000字程度に要約し、記載すること。

(8) 科学研究費補助金・各種研究助成金等外部資金の獲得・受領状況（別紙様式3）

①過去10年間の獲得状況を直接経費、間接経費に分け記載すること。

②分担者としての助成金については、分担者として助成金を単独で直接受領した場合のみ記載し、その分担金額を記載すること。

(9) 発表論文、外部資金獲得状況（別紙様式4）

① 現在までに発表した論文、獲得した外部資金について記載すること。

② h-indexについては、Scopus、Google Scholar、ResearchGateで示されるh-indexの数値は用いず、Web of Scienceの被引用数（CI）を基に算出された数値を用いてください。

(10) 特許等の取得および出願状況

(11) 関連する資格のある場合は、その証書の写し

(12) 推薦者のある場合は、その推薦状（ただし推薦者は個人に限る）

その他の留意事項

※ 選考過程中に応募を取り下げる場合には、以下の問い合わせ先にご連絡下さい。

(問い合わせ先)

大阪大学歯学研究科総務課人事係

TEL: 06-6879-2833

E-mail: si-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp

【参考】

h-index (h指数) について

研究者の研究成果を定量化する指標の一つで、「発表した論文のうち、被引用数がh回以上ある論文がh本以上ある場合、これを満たす数値hがその研究者のh-indexとなる」とされています。

計算: 研究者 (または論文集) がそれぞれ N 回以上引用されている N 本の論文を発表している場合、h-index は N になります。h-index は、Web of Science の被引用数データに基づきます。書籍や索引付けが行われていない情報源への引用は含まれません。h-index は、Web of Science Core Collectionの購読レベルと選択したタイムスパンに基づきます。

“Web of Science Core Collection: h-index とは” より